

セミナーのお知らせ

環境と経験依存的AMPA受容体 シナプス移行

高橋 琢哉 先生

横浜市立大学 生理学 教授



日時

平成25年1月30日 (水) 17:30-18:30

場所

基礎研究棟1F 大学院セミナー室

外界からの様々な刺激に応じて脳は時々刻々と変化をしていくが、そのような変化(可塑的変化)の分子基盤が近年明らかになりつつある。興奮性シナプスにおいて中心的役割を果たしているグルタミン酸シナプスにおける可塑的変化は記憶、学習をはじめとした経験依存的神経可塑性の基盤であると考えられている。

グルタミン酸受容体の一つであるAMPA受容体の挙動はとりわけ注目を集めているが、本セミナーでは様々な行動、環境における経験依存的AMPA受容体シナプス移行について当研究室の最新データを紹介する。

連絡先：竹居 孝二 (生化学分野)

(TEL：235-7120, E-mail：kohji@md.okayamau.ac.jp)

大学院生、ARTプログラム科目等履修生のみなさま：

本セミナーは院生用講義「研究方法論」の授業とみなすことができます。「研究方法論」を履修中の大学院生で、この特別講義に参加された場合、単位認定の対象となります。出席記録に開催者認印をもらって下さい。